

JNSA

日本ネットワークセキュリティ協会

今年度は、大学などの教育機関と協力してカリキュラムを作るなど、体系だったセキュリティ教育の実現を目指す

JNSA (Japan Network Security Association) は2000年4月に会員数63社により任意団体として発足したが、近年のネットワークセキュリティ関連の情報の広がりと共に、2000年暮れには会員数が100社を越え、さらに増加している。

2001年にはNPO (非営利法人) として法人化される予定であり、社会的な認

Jump www.jnsa.org

問い合わせ先

日本ネットワークセキュリティ協会

E-mail sec@jnsa.org
03-5633-6061
03-5633-6062

知や役割を持ち、さらに活発な活動を目指している。これまでも、IPSec相互接続実験を工学院大学の協力のもとに実現させ、実際の機器の接続性の評価試験を行ってIPAの報告書としても公開した。また、電子政府の調達で必要となる、カテゴリごとの製品・サービスのデータベースを作成し、こちらもIPAからのと合わせて広く公開することができた。

今年度の予定として、大学などの教育機関でのセキュリティ教育の実現をあげている。現実には社会に出てから実際の機器の設定や運用を通してセキュリティを学んでいく場合が多いと思われるが、体系だった教育がなされていないため、そ

の場合、その機器かぎりの知識ですまされ、ネットワークセキュリティ技術者としての基礎や鳥瞰するための知識が不足していた。このような現状を改善するため、JNSAと大学などが一緒になってカリキュラムを作るなど、実務教育の分野にも取り組むことを計画している。

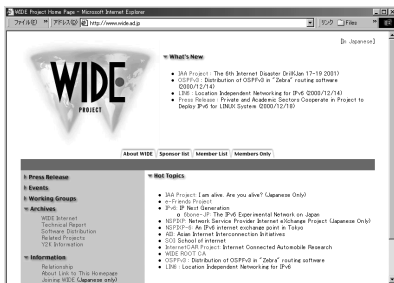
また、JPCERTやIPA、警察庁を始めとする政府省庁、その他のセキュリティ関連の団体や組織とも連携を組み、日本だけではなく地球規模のネットワークセキュリティの実現と普及に貢献できることを心掛けている。5月16、17日には展示会を併設したネットワークセキュリティフォーラムを開催し、日本におけるセキュリティ専門の情報発信、情報交換の場として、さらに貢献できるものと考えている。

(安田直義 日本ネットワークセキュリティ協会幹事)

WIDE Project

WIDEプロジェクト

インターネットの世界を牽引する研究コンソーシアム。IPv6研究をはじめ、グローバルな活動ぶりをみせる



www.wide.ad.jp

問い合わせ先

WIDE Project

press@wide.ad.jp
0743-72-5150
0743-72-5149/5159
(奈良先端科学技術大学院大学情報科学センター 砂原秀樹気付)

WIDEプロジェクトは、インターネット技術に関して研究・開発を行うことで、インターネットの世界において牽引力となるべく組織された研究コンソーシアムである。大学、企業、国立研究機関の研究者、技術者をメンバーとし、現在約500名が所属している。

ここでは、単に技術の研究・開発だけでなく、実際のネットワークの運用を行いながら、そこで得られた見地を技術移転することにより社会貢献することも目的とされている。また、IETFなどの標準化活動に積極的に参加し、国際的な標準化活動においても中心的な役割を果たすよう活動を行っている。

■活動内容

プロジェクトでの活動は、十数程度のワーキンググループと呼ばれる研究グループによってテーマと目標を定めて進められている。

現在のテーマは、IPv6の開発と普及、性能測定技術とネットワーク運用技術の開発、セキュリティ技術の開発と普及、インターネットを用いた災害時の情報管理と配信、インターネット空間における高等教育環境の構築、自動車を含む移動体情報システムの構築などがあげられる。これらの成果は、ソフトウェアの配布、論文発表、各種イベントへの協力、技術移転を目的とした講演などによって、広く公開されている。

(砂原秀樹 奈良先端科学技術大学院大学情報科学センター教授/WIDEプロジェクト 広報担当ボードメンバー)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp